

節約セッカント



十月十八日の「みんなの生活展」からスタートし、第14回市民文化祭はことし初めての小中学校、保育所、幼稚園美術作品展をはじめ、音楽、絵画、文学など各ジャンルごとに、日頃の活動成果が発表、展示され、十一月二十六日の青年団演劇発表で長期間にわたる文化祭の幕を閉じます。

写真は菊花展のものです。

華やか市民文化祭

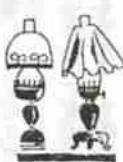
(登別温泉)・11月28日(火)7:30~35 「登別温泉開拓の秘密」をごらんください。

陶芸の基本を勉強

市が老人の生きがい対策としていま、老人ホーム「恵寿園」で建設中の「焼き物作業所」を使い、陶器づくりを楽しんでもらうため、老人大学「陶芸教室」が、十月二十三日から三日間、各地医でひらかされました。簡単な基礎知識を勉強したあと、実際に粘土をこねて茶わんづくりを楽しみました。写真は静和園で行われた、陶芸教室のもう一つです。



読書感想文を募集しています



市立図書館では、昭和五十三年度の読書感想文を次の要領で募集しています。
多數のご応募をお待ちしています。

◎練習日 毎週火、木曜日、午後6時30分~8時
◎場所 市総合体育館

くわしくは、電話(5)1036伊藤(事務局長)宅、または、(5)7729(仙北)宅へおたずねください。

文化短信

青年団演劇発表会を見よう

市内の青年達で作っている劇団「泥」が、これまでの練習の成果を、市民のみなさまに見ていただこうと、発表会をひらきます。

ぜひ見にきてください。

◎日時 11月26日(日)午後6時
◎場所 中央公民館 2階ホール
◎演題 「顔」 佐藤凡子作の現代劇で、母子家庭のはのほのとした生き方を表現しています。

文芸

図書館または各学校の担当の先生に提出。(学校名の入った原稿用紙は使わないでください)※応募作品は返却しません。

◎発表 時から市立図書館で発表します。

くわしいことは、市立図書館(電話(5)4324)にお問い合わせください。

文芸

残葉の父へと吾子がむき置きしみかん厨に立つたびにおう

て夜露に冷えいしトマトもぎゆく

息子に反きこの北国に家建つも時には空し足痛む夜は

対馬碧

真向え波涙にじみくる思い

ゆえ木立のかげになんじを送りぬ

川柳

小林碧水

かあさんの胸に凍らぬ湖がある

岡崎加納美舟

飽食の耳に挽歌が聴こえない

夫婦

少しずつ魔性が棲んでいて夫婦

駆されて驅して顔のない鏡

小1 武田克己

ぼくさみしいからがあさん

はやくきて

小2 長尾満

走ってもみんなにまける

ぼくなんだ

小3 村木伸一

ゴルセフは少し自由に走りたい

一般川柳 渡辺サチエ

主婦の手に縫う針は見つかからず

◎題材 自由(ただし、教科書題)
◎資格 市内の小学生
◎題材 材は除く)
◎字数制限 四百字詰タテ書原稿
用紙三枚以内
◎申込み期限 昭和53年11月30日
◎申込み方法 作品は四百字詰タテ書原稿の第一行目に氏名
三行目から本文を記入。
応募用紙の所定の欄に、氏名、
標題、学校、学年を記入のうえ、
でください。

小林寺拳法の道場が、登別中学校隣りの登別東青少年会館でも、毎週水曜・日曜日の二回、午後六時半からひらかれています。
ご希望の方は、市内登別温泉町六十番地、大森一実さん(電話0143842676)に申し込ん

